

住民と議会をつなぐ

すみた 議会だより



No. 188

令和7年
1月17日

「ドキドキ、わくわく
クリスマス!!」

(世田米保育園) 関連記事 20P



12月議会のあらまし

町営住宅 民間管理も可能に ②

旧学校活用などで論戦 ④
(7人の議員が一般質問)

住民と議員との懇談会 ⑫

どうなりました あの提言 ⑮

岩手県住田町議会





△ 管理業務の民間委託を可能にし、サービスの向上を目指す町営住宅

第6回定例会 (12月議会) あらまし

町営住宅 民間管理も可能に

第6回定例会（12月議会）は、12月3日から6日までの4日間の会期で開かれました。一般質問には、7人の議員が登壇し、空家対策、防災対策、経済対策、観光振興など、多岐にわたり活発な議論が交わされました。本会議では町条例の一部改正、補正予算など13議案、専決処分1件について審議し、すべて原案の通り可決、承認しました。

条例改正

指定管理制度を 条例化

町営住宅の管理を指定管理者が行えるよう、住田町営住宅、特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部が改正された。これまで町が直接管理していた町営住宅、定住促進一戸建て住宅、定住促進集合住宅を、町長が指定する法人や団体が管理できるようになる。

問

町営住宅の管理を外部委託するメリットは。

答

築20年が経過した住宅が130棟以上あり、修繕依頼がつかない。外部委託することで、職員負担の軽減と、スピーディーな対応が出来るようになる。

問

指定管理者に求められる要件は。

答

話し来年度公募を実施する。条件が整えば令和8年度から指定管理を委託する。管理者が決まらなければこれまで通り町が管理する。

問

入居者の安心をいかに確保するのか。

答

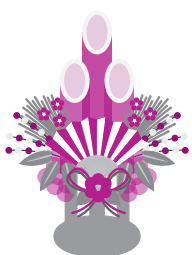
業務委託する場合は、入居者へ時間をかけた丁寧な説明を行い、不安の無いよう対応する。

給与・手当など改定

岩手県人事委員会の勧告により岩手県職員の給与が改定されたことに伴い、町職員給与・勤勉手当、特別職（町長他）、議員の期末手当などが増額改正された。

主な改正点は左表のとおり。

		現行	改正後
一般職	勤勉手当	2.00月	2.10月
特別職	期末手当	3.40月	3.45月
会計年度任用職員	勤勉手当	2.00月	2.10月
議員	期末手当	1.70月	1.75月



令和7年謹賀新年
今年もよろしくお願い致します
住田町議会議員一同





△ 浮き石の多い赤畑地区急傾斜地に防護柵

令和6年度 一般会計補正予算 赤畑地区 急傾斜地対策

令和5年度から始めた赤畑地区急傾斜地対策事業は、令和7年度から工事が開始。工事費の1割に当たる500万円が町負担分として追加された。

問 赤畑地区の急傾斜地災害対策の詳細は。

答 土砂防護柵を設置。工事は令和10年までを予定。終了後は土砂災害が軽減されると考える。



△ 伐採と薬剤散布で拡大防止

ナラ枯れ対策に追加予算

問 林業振興費約207万円の内容は。

答 ナラ枯れの原因、森林病害虫の駆除委託料になる。ナラ枯れは令和3年度に大船渡市との境に発生し、拡大してきている。原則として全量駆除として取り組んでいる。当初見込みより被害が拡大したために追加した。

くらしを応援

物価高騰に対応

原油価格・物価高騰に対し、生活困窮者の冬期間の経済的負担の軽減を図るため、1世帯あたり7000円が支給される。

高齢者世帯及び障がい者世帯などで非課税世帯が対象となる。

専決処分報告

医療費給付

対象者が拡大

児童扶養手当法の改正による、所得制限の緩和に関わる専決処分が報告された。子どもや妊産婦、重度心身障がい者のほか、一人親家庭の医療費給付対象者が拡大となる。

賛否の分かれた議案

議案	金野千津	荻原勝	佐々木初雄	佐々木信一	瀧本正徳	村上薫	阿部祐一	林崎幸正	菊池孝	高橋靖	水野正勝	佐々木春一	採決結果
議案第7号 住田町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	欠	一	可決
議案第8号 特定公共賃貸住宅等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	一	可決
議案第9号 令和6年度住田町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	一	可決

「○」は賛成、「×」は反対、「一」は採決に加わらなかったことを表します。

登壇！

一般質問

町の考えを問う

旧学校活用、空き家
経済対策などを議論

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
5	荻原 勝	①空き家対策
6	金野 千津	①総合防災訓練の総括と今後に向けた取り組み ②鳥獣被害対策における現状と取り組み成果
7	林崎 幸正	①経済対策
8	村上 薫	①防火対策 ②公益通報制度 ③生成AIの活用
9	水野 正勝	①旧有住中学校の建物や敷地のあり方
10	佐々木信一	①特産品開発 ②世田米中心地域の観光振興
11	瀧本 正徳	①旧下有住小学校の跡地活用 ②健康なまちづくり

全文記録（議事録）は、役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。
(QRコードで議会ホームページへ直接進むことができます)

▼QRコード



一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に対し、施策の状況や将来の方針など、所信や疑問点をただすことができる重要な議員活動の場です。1回目の質問事項は、事前に執行機関へ通告されており、全項目を一括して質問。2回目以降の再質問は、1問1答方式で行っています。持ち時間は、答弁を含めて一人あたり60分です。ここからは、主な質問と答弁を要約した内容を登壇順にお知らせしていきます。

問 特定空家への対策は

答 チラシ配布し一定効果

問 空き家対策では、平成27年度に町内全棟調査を実施。住宅総数2076棟中、空家数は41棟、うち特定空家は16棟であった。この調査結果を基に、特定空家対策にどう取り組んできたのか。

答 町長 平成27年度的全棟調査で近隣に悪影響を及ぼす「特定空家」ではないかとされた物件の現地調査を令和5年度

に行った。調査結果を基に、必要に応じて所有者に文書や対面で適正管理を促した。

令和6年度4回にわたり、空家の適正管理を促す啓発チラシを町内各戸に配布。同年11月に行った特定空家への追跡調査では、2棟の滅失を確認しており、本町の啓発に一定の効果があつたものと捉えている。

問 来年度に全棟検査を行うとしているが、どのような調査を考えているか。

答 町長 令和7年度に再度の全棟調査を予定。実施方法や時期などは検討中だが、空家の状況に応じて程度を分類し、令和5年度の法改正で加わった「管理不全空家」においても新たに判断し、対応して行きたい。



おぎわら 荻原 まさる 議員

空き家活用は、世界の人々をターゲットに。ILCを想定して

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 空き家バンクどう展開

答 専門性で外部委託検討

問 空き家の活用にはどう取り組んできたか。

答 町長

空き家情報や利用希望情報が登録されている「空き家・空き地情報バンク」（空き家バンク）による情報提供を平成20年度より展開。現在までに37件の成約があつた。

町が空き家を所有者から借り受け、希望者に貸し出す「定住促進空き家活用住宅」の制度も令和元年度より実施。現在、4棟中3棟が入居している。

問 空き家バンクでは町内業者委託、町外業者委託、町直営と管理組織が変動しているが状況はどうか。来年度以降の展開はどうか。

答 企画財政課長 令和5年度の業務委託では入札に応じる業者が無く町直営とした。外部委託の方が不動産に関する専門体制がとれ、相談や登録件数も多かった。入札されなかった原因を分析し、外部委託を検討していきたい。



△「定住促進空き家活用住宅」の物件

問 総合防災訓練の課題は

答 自助・共助の強化が鍵



きんの ちづ 議員
金野 千津

町の考えを問う

自助の意識を高め、
日頃から防災意識を
持つことが安心・安全の
第一歩

議員のつぶやき

問 10月に開催された総合防災訓練、住民の参加状況はどうか。

答 町長

今回の総合防災訓練は、地域住民や民生委員、消防団などが連携し、個別避難計画に基づく避難訓練を実施することが目的。参加は、住民が932名、消防団員が125名となる。避難意識の高揚と共助意識の醸成が図られた。

問 訓練における今年度の新たな取り組みと実施しての課題は。

答 町長

携帯電話が使用できることを想定し、新た

にラインを活用した情報伝達訓練、ラインオープンチャットを活用した避難所運営職員との情報共有を行った。要支援者への対応では、個々の役割を確認するなど、一定の成果があった。介助方法や



△ 子どもから高齢者まで、多くの住民が参加。共助による個別避難訓練も実施された

要支援者に係る負担への知識が不十分なことや避難所である住田中学校の設備に課題もあった。

問 今後に向けての新たな取り組みはどうか。

答 町長

災害時の初動対応において、自助や共助の強化に繋がる自主防災組織の育成や避難所運営訓練、施設整備の改善に取り組みたい。

問 有害防除の成果を

答 行政と地域一体で

問 電気牧柵やシカ防護網の成果と今後の取り組み課題はどうか。

答 町長

国の補助事業と町単独事業による補助金で設置要望に対応している。国の補助事業の活用要件は、販売農家であり、交付決定まで一定の期間を要する。

町単独事業では、シカ防護網等緊急設置事業補助金で対応。昨年度以上に設置要望があり、被害の減少も見られる。獣種により張り方を工夫したり、設置後の適切な管理が重要となる。今後も、町単独事業の見直しを行い、鳥獣被害軽減に努めていきたい。

問 被害の多い地域における山林との緩衝地帯の整備など、取り組み状況はどうか。

答 町長

鳥獣被害対策への行政の関わりは、個体群管理や侵入防止対策、生息環境管理の3本柱となる。生息環境管理では、放任果樹などの伐採を実施し、獣の隠れ場などの管理による緩衝地の整備が必要。除伐や草刈りによる緩衝地の整備は、23団体ある町農林業振興会の機能を充実させ対応したい。振興会への補助メニューも見直し、行政と地域が一体となつて取り組むことで成果を上げていきたい。

問 プレミアム商品券発行を

答 商工会と情報交換図る

問 物価の高騰が続く家計に大きな負担が生じている。コロナ禍の対策として実施されたプレミアム商品券事業の実施が効果的と思うがどうか。

答 町長

日常生活や経済活動は、元に戻りつつあると実感しているが、円安傾向や不安定な世界的情勢により、エネルギーや原材料コストが高騰し、日本国内での

物価上昇が進んでいると捉えている。これまでと同様に、商工会や商工業者と情報交換や情報共有を図り、国の経済支援対策を注視しながら取り組んでいく。

問

事業者にとっては、物価の高騰や最低賃金の引き上げによる人件費の増加が経営を圧迫している現状にある。経済支援策を講ずるべきと考えるがどうか。

答

町長

令和6年度岩手県の最低賃金は、59円増の952円となった。事業継続には、生産性の向上や収益改善などが重要になると捉える。

本町では若者の働く場の確保や職場定着を促進する助成制度を整備。町内事業所の人材確保に努めている。今後とも国の支援制度の周知や商工会・関係機関との連携を図りたい。



はやしざき 林崎 さちまさ 幸正 議員

今後、神田町政は特にも経済政策に独自性を出すべきだ

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 給食費無償化の考えは

答 国全体で対処すべき

問

小中学生の子育て家庭においては、給食費の負担も大きいため、無償化すべきと思う。来年度から実施する考えはないか。

答 教育長

給食費は年額で小学校児童が5万円、中学校生徒が5万6000円。食材料費のみが保護者負担となっている。町内の経済状況や全国的に給食の無償化が議論されている現状を考慮し、食材料費の値上がり分は町が負担している。現在、無償化は

考えていない。

問 近隣には給食費を無償化している自治体もあるがどうか。

答 教育長

給食費を無償化した場合、令和5年度を例とすると年間で約1800万円の措置となる。その財源を毎年確保する課題があり、慎重な議論が必要と考える。学校給食は義務教育における重要な活動であることから、本来国が対応するべきと考えている。



△ 一部保護者からも無償化を望む声がある学校給食

問 機能別団員の充実を

答 意見交換踏まえ対応

問 平日、日中火災への初期消火対応は、機能別消防団員に依存するところが大きい。機能別団員のさらなる充

答 町長 町内には、106基の消火栓が整備されている。点検は、分署職員により、防火水槽の点検も含めた地水利調査として、毎週月・火曜日に実施をしている。

問 11月に、上有住地内において大規模な住宅火災が発生した。火災現場の消火栓に不具合があったが、各消火栓の定期点検はどのように行われているのか。

答 町長 町内には、106基の消火栓が整備されている。点検は、分署職員により、防火水槽の点検も含めた地水利調査として、毎週月・火曜日に実施をしている。



むらかみ 村上 議員
かおる 薫 議員

町の考えを問う

突然の出来事に、被災者は「被災後の手続きガイドブック」があると助かる

議員のつぶやき

実を図っていくべきと考えerがどうか。

答 町長

令和6年4月現在、消防団員は、基本団員244名、機能別団員55名。人口に占める消防団員の割合は、約7%で県内1位となる。

機能別消防団員制度は幾度の改正を経て、定員制の撤廃や基本団員と同様の活動報酬の支給、公務災害の適用、退職金の支給対象など充実が図られてきた。現在、見直しの考えはないが、団との意見交換も踏まえ対応していきたい。



△ 目視点検のみならず、消防演習時や実際の接続点検も重要では…

問 各地区公民館は、防災上の拠点である。備品の情報共有と相互利用の認識がされているか。

答 町長

各地区公民館は、防災上も非常に重要な施設である。災害時の必要最低限の備蓄品は、地区公民館をはじめ、各主要施設の倉庫に配置している。災害などの非常時の利用にも対応できるよう情報共有を図っていきたい。

問 公益通報への対応は

答 取扱要綱を制定

問 公益通報者保護制度への対応はどうか。

答 町長

令和6年11月「住田町公益通報取扱要綱」を制定。内部通報制度と外部通報制度に分け、通報受付窓口の設置や通報対応責任者の責

生成AI活用

問 生成AIの活用状況と今後の計画は。

答 町長

テキスト生成のみとなるが、インターネットでの生成AIの無料サービスは利用できる状況にあるが、ガイドラインなどは策定していない。利用に当たっての注意事項などをまとめ、業務での適正な利用に努めたい。さらなる有効活用も検討していきたい。

問 旧有住中校舎のあり方は

答 情報収集と利活用検討

問 旧有住中学校における施設や敷地の現状、活用状況をどのように捉えているか。

回、運動場が1回となる。校舎の活用はない。

答 町長

住田町公民館設置条例において、旧有住中学校の体育館と運動場を上有住地区公民館の管理と定めている。校舎は、普通財産として町が施設管理を行っている。活用状況は、11月末時点で体育館が8

問 校舎は建築から52年、体育館は51年が経過している。今後の対応やあり方をどのように考えているか。

答 町長

当面の間、体育館と運動場は、特定の目的を持った行政財産とし、上有住地区公民館の管理とする。運動場

は、今後の使用状況の推移を見ながら、土地の利活用に着目した検討も必要と捉えている。校舎は普通財産であり、役場内で情報収集に努め、利活用の検討をしていきたい。一方で、校舎と体育館の経過年数を考慮し、解体すべきかも合わせて判断していくことも重要と考えている。



まさかつ 正勝 議員
みずの 水野

来年度以降、運動場をよりよく管理するため、どのようにしていくか考えなければなりません

議員のつぶやき

町の考えを問う



△ 枯草におおわれ、シカの足跡が散見する旧有住中の運動場。今後のあり方は…



△ 当面の間、バレーボールなどで利用が可能となっている旧有住中の体育館

問 校舎の活用として今後、住民から相談があった場合に、空き教室などの貸し出しをどのように考えているか。

答 総務課長

校舎内には多くの備品が残されている。まずは、備品の処分や整理に注力していきたいと考えている。

問 校舎内の備品の処分として、町民への払い下げなどはどうか。

答 総務課長

学校関係者とも再度備品を確認し、再利用できるものがあれば、必要に応じて払い下げにも取り組みたい。

問 本年度、運動場の維持管理はどのように行なわれたのか。

答 教育次長

草刈りを町で1回実施。卒業生を中心とした地元有志の方々と1回実施がなされた。

問 ジビエやきのこと特産品に

答 セシウム解除もう数年

問 山林の多い当町であるからこそ、ジビエや山菜などの豊富な山の恵みを活かした取り組みが必要と考える。ジビエの特産品開発などの事業展開をどのように捉えているか。

答 町長 東日本大震災以降、放射性セシウムの影響により、ニホンジカなどの野生動物は、県下で出荷自粛要請がされている。一部自治体では、全頭検査により一部で出荷が認められている。セシウムの数値は、年々低下しているが、解除の見通しは立っていない。

問 キノコや山菜の特産品開発などの事業展開をどのように捉えているか。

答 町長 本町では、野生きのこ類や露地用原木しいたけ、こしあぶら、ゼンマイが、セシウムの影響により出荷制限となっている。本年度、ゼンマイの数値が低下してきていることから、町内60カ所から採取をして検査。100ベクレルを超えた値もあり、解除申請にはもう数年様子を見なければならぬ状況にある。



△ 愛宕神社から見渡せる世田米商店街の街並みと風景

問 世田米駅周辺や気仙川沿いには、歴史的な町並みや蔵並み、仏閣などの魅力的な場所が多くある。観光人口の拡大に繋げていくべきと考えるがどうか。

答 町長 世田米地区に12カ

所の「まち歩きサイエンス」を令和元年度に設置。平成28年度には、「まち歩きガイド養成講座」を開催し、人材育成にも取り組んできた。現在、ガイドは6名。世田米地区公民館内に「せたまいまち歩

きガイド事務局」を設け対応している。これらの取り組みを継続し、パンフレットへの掲載をはじめ、SNSやホームページなどで広く周知していきたい。

問 愛宕神社から見る世田米の町並みや夜景は格別である。観光スポットとして整備していく考えはないか。

答 町長 愛宕神社は、町の史跡33カ所の一つ「愛宕さま」として紹介されている。神社への道や広場は、地域のコミュニティで環境整備が定期的に行われている。協力的に景観維持に努めている。



さ さ き しんいち
佐々木信一 議員

愛宕神社境内から
見る町並みを新たな
観光資源にしたい

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 蔵並みを観光人口拡大へ

答 SNSやHPで広く周知

問 健康なまちづくり推進を

答 自らの行動の変容が大切

問 次期総合計画策定が進む。健康な町づくりのためには、年齢にこだわらず社会参画をすすめ、地域活性化や健康維持活動を推進すべきと思うがどうか。

答 町長

総合計画の健康なまちづくりと社会参画は、重点施策「医」分野で、検診や介護予防、食育や運動習慣などの取り組みとして進める。

人生百年時代と言われる現代は、誰もが生涯にわたり健康で活躍できる地域社会が求められている。このため就労や地域活動など、社会参加できる場づくり「自分の健康は自分で守る」意識や行動変容が大切である。社会参画できるようリーダー育成や組織作りの支援が必要と捉える。

健康なまちづくりは自分たちの幸せな日々

となり、医療費や介護費などの低減効果となるような体制づくりを進める。

問 まちづくり推進のため、高齢者区分を見直すべきでないか。

答 保健福祉課長

65歳高齢者区分は全国的な区分であり、住民の意識の中にも定着している。「元氣な皆さん」の形で計画を進めたい。



たきもとまさのり
瀧本 正徳 議員

生涯現役生活は、「楽しい野良仕事」にあり、と感じる今日この頃である

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 旧下有住小施設の今後は

答 地区の声を参考にして

問 旧下有住小学校の跡地は、活かすべき貴重な財産である。現状と管理状況は。

答 町長

旧下有住小学校跡地は、東日本大震災後は、後方支援のため、応急仮設住宅地利用されてきたが、令和4年度に仮設住宅と第2校舎を解体し、5年度にプールの解体を行った。元小学校であり、地域のシンボリックな所である。跡地活用は下有住地区民などの意見を受け検討をしてきた。

校舎管理は電気や消防設備の点検などで、グラウンドは年2回の草刈を実施している。

問 今後の活用・管理計画はどのようなになっているか。

答 総務課長

校舎・校地とも普通財産になっている。旧校舎裏の雑木などの伐採や、安全面に留意した管理を行う。今後も、現状管理を継続しつつ、地区民の意見を参考にしながら協議検討して方向を決める。



△ 管理が課題となっている旧下有住小学校跡地

地域の声を町政に生かす

「住民と議員との懇談会」

議会では、自治公民館と共催で「住民と議員との懇談会」を開催しています。今回は2自治公民館での開催となりました。共通テーマを「議員定数と報酬」に、皆様からの質問や意見、要望などは議会として受け、議会活動に生かしていきます。

住民と議員との懇談会 開催状況

開催日	自治公民館名	出席者		
		男	女	計
11月15日	下在公民館	6	3	9
11月19日	火の土自治公民館	5	3	8
		11	6	17

議員定数と報酬、いかに

議会の使命のひとつに、議会が決定した政策を中心に執行機関の行財政や事業の実施が適正になされているかを監視する役割があります。議員は住民の代表として、住民の声を聞き行政に反映させていく必要があります。

住田町議会は、現在3期連続の無投票になっており、議員のなり手不足が課題となっています。その要因のひとつに定数、報酬の問題があると考え、見直しについて協議を進めています。

住民の声

《定数》

- ・安定的に仕事を続けるためにはそのまま
- ・定数減で議員負担が増えるなら現状のまま
- ・定数を減らしても特に支障がないのでは
- ・3期連続無投票。なり手不足なら定数減で
- ・定数減による弊害を検討し、慎重な対応を

《報酬》

- ・今の社会情勢を見れば、上げて良いと思う
- ・しばらく上げていないなら、上げるべき
- ・報酬が高くて良いと思うが、それだけの働きがあればということ
- ・なり手が増えるなら報酬を上げて



交通空白解消して

他の意見要望

- ・マイナ保険証、丁寧な情報を
- ・議員へ意欲ある人を応援して
- ・女性議員を増やす活動を
- ・下在にもコミュニティバスを

他市町村議員定数と報酬の状況

単位：円

市町村名	人口	定数	報酬		
			議員	副議長	議長
住田町	5,045	12	196,000	207,000	258,000
平泉町	7,252	12	203,000	218,000	271,000
西和賀町	5,134	12	191,000	208,000	257,000
金ケ崎町	15,535	16	212,000	229,000	283,000
紫波町	32,147	18	300,000	350,000	410,000
葛巻町	5,634	10	211,000	227,000	279,000
軽米町	8,421	12	195,000	219,000	262,000
九戸村	5,378	12	165,000	182,000	230,000
大船渡市	32,537	20	320,000	339,000	392,000
陸前高田市	17,355	16	300,000	330,000	380,000
県内町村平均			209,163	227,053	279,632

(令和5年7月1日現在 町村議会実態調査表資料)

共生の地域づくり 「ここで生きる心」で



ちば のぼる
千葉 上 さん
(下有住字奥火の土)

参加者のひとこと

人口減や高齢化のため、公民館活動や共同作業などが難しい時代と感じている。ここで生きる心で、共生地域づくりを進めたい。



消防屯所に配置を

時間との勝負 近くにAED



蔵と新昭和橋で

景観を生かした魅力づくりを

街並みを生かして 「にぎわいのある町」に

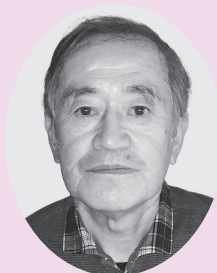


おいわけ じゅんこ
大和田 純子 さん
(世田米字窪田)

参加者のひとこと

街歩きガイドをしています。世田米のレトロな街並みを生かして、にぎわいのあるまちづくりに取り組んでいます。

議員定数と報酬 「良い方向性」を



かんの なおと
菅野 直人 さん
(世田米字田谷)

参加者のひとこと

議員の役割は、住民生活向上であり、町民のために活躍する議員であれば現在定数で報酬を上げて良いと思う。



火の土自治公民館

滝観洞で社会科見学

他の意見要望

- 空き家増に不安、活用策は
- 旧下有住小学校の管理活用は
- 耕作放棄田に自走型草刈り機を導入してほしい

岩手県町村議会 広報担当者研修会

11月6日～7日 花巻市・ホテル紅葉館

議会 レポート 活動報告

10～12月

ここでは、広報編集常任委員会が参加した岩手県町村議会議長会主催の広報担当者研修会や地域創造学のプロジェクト報告会、議会タブレット導入推進委員会の進捗状況、町村議会シンポジウムなど、活動内容についてご報告します。

広報の充実で

議会の見える化を



講師

議会広報サポーター
一般社団法人埼玉県コミュニケーション
センター理事長

吉野 政明 氏

広報編集常任委員会では、岩手県町村議会議長の主催による広報担当者研修会へ全委員で参加してきました。研修会には、県内19町村議会より、全78名の広報担当者が参集。2日間にわたり、講義や各議会が発行している議会広報を共に確認し、受講・研究しました。

広報編集常任委員会

いま、問われる
自治体議会の
信頼性、存在感

- ・ 地方議会選挙の投票率低下、議員のなり手不足の傾向
- ・ 多くの住民は自分のまちの議員が何をしているか知らず、議会が生活の役に立っている実感もない
- ・ 議会の役割や機能を知らない住民が少なくないという現状
- ・ 議会報告会や意見交換会が一時期より低調という評価。議会改革と広報改革、政策活動の持続的な追求が期待されている



議会だより 188号

～編集工程の流れ～

第1回 編集委員会 (12/3)

内容：ページ担当者、発行スケジュールの決定

第2回 編集委員会 (12/9)

内容：一般質問ページの原稿読み合わせ



第3回 編集委員会 (12/13)

内容：一般質問ページの修正原稿読み合わせ、その他ページのレイアウトと内容の協議

第4回 編集委員会 (12/19)

内容：一般質問ページ以外の原稿読み合わせ、修正・訂正

第5回 編集委員会 (12/26)

内容：印刷業者からの初校を確認・読み合わせ、修正・訂正

生徒の発表を間近で

地域創造学「プロジェクト報告会」

12月11日、住田中学
生と住田高校生による
地域創造学の「プロジェ
クト報告会」が行われ
ました。令和6年度の
取り組みのまとめと振
り返りを目的に開催。
今回、ゲストサポーター
として案内をいただ
き、8名の議員が参加。
中高生の柔らかい発
想やアイデアに議員
も大いに刺激を受けま
した。



△ 中学生が61、高校生が9つのプロジェクト課題を発表

プロジェクト課題 (一部紹介)

- 住田中学生
 - ・住田のCMを作ろう
 - ・猟師になる方法
- 住田町役場の利用案内図を作る
- 住田高校生
 - ・住田の木造建造物を知ってもらう
 - ・ケガ予防ストレッチ

議会・議員の役割と 政策提言を考える

のように議会改革に取り
組むべきか。政策形
成機能の充実を図るた
め、議会・議員として
どのように関わってい
くべきなのかを学びま
した。

- ・最重要は議員全員に
よる審議。討論や議
員間質疑の充実。
- ・議会の政策サイクル
(住民意見を吸い上
げ、議員間討議を経
て、議案審議や政策
立案に住民意見を反
映させる議会活動)

① 基調講演

「議会・議員の役割
と政策提言のあり方
を考える」
―「住民自治の根幹」
としての議会―

② パネルディスカッ ション

- ・各議会の意見発表
北部地区1名、県央
地区1名、県南地区
1名、東部地区1名

講師

大正大学社会共生学部
公共政策学科
教授 江藤 俊昭氏

・討論・意見交換

コーディネーター
江藤 俊昭氏
パネリスト
意見発表者

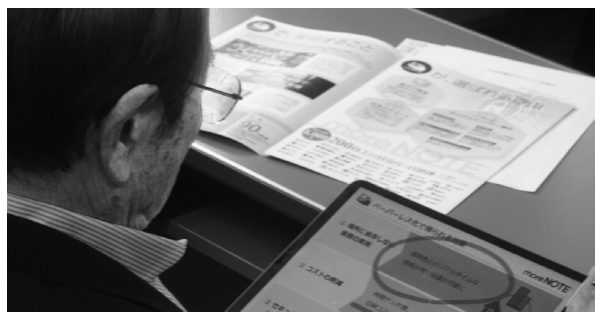
◆講演内容の要点

- ・新たな議会(住民と
歩む議会)

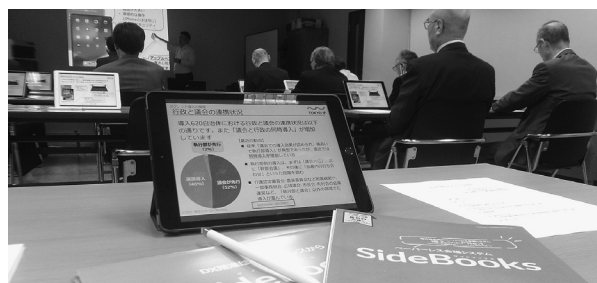
— 会議ソフトを実演学習 —

10/9、10/23、11/11

議会タブレット研修会



議会タブレット導入推進委員会では、ペーパーレス会議ソフトの選定と全議員によるタブレット操作の実演を目的とした研修会を3回（3社）にわたり、開催。研修会では、本会議や予算・決算特別委員会を想定した資料閲覧の操作や画面資料へのメモ書きの仕方などを受講しました。



議会レポート

12月19日 開催

議会タブレット

導入推進委員会

（検討会議）

協議内容

- ・タブレット研修会の振り返りと総括
- ・端末機種の選定
- ・会議ソフトや連絡ソフトなどの選定
- ・導入までの準備工程の確認

歳末たすけあい芸能祭



△ 学童クラブの皆さんの堂々とした踊りに感動。ご一緒にいただき感謝

連続出演25年目

学童クラブの皆さんと一緒に「北国の春」

12月1日、恒例の住田町歳末たすけあい芸能祭が開催され、当議会も参加出演をしました。演目では、全員で千昌夫さんの「北国の春」を合唱。今回は、世田米学童クラブの皆さんに「北国の春体操」を曲に合わせて踊っていただきました。歌と踊りの和やかな共演となりました。

第68回町村議会議長全国大会

令和6年11月13日 会場 NHKホール

地方の課題を中央へ

全国町村議長の会主催による全国大会が行われました。全国743町村議会より議長が一堂に会し、地方が抱える課題や現状、あるべき姿を共有。町村議会が一致結束して、果敢に行動していくことを宣言しました。大会には、内閣総理大臣をはじめ、多くの国会議員が来賓として会場を訪れました。



高根沢町議会を訪問

県南地区町議会議長会 視察研修

期日

令和6年11月14日

研修テーマ

議会活性化の取り組み

高根沢町議会では、令和4年6月に議会活性化特別委員会を設置し、調査や検討内容を提言書にまとめ、改革を推進してきました。



気仙地区議会 国際リニアコライダー 誘致推進議員連盟 総会・研修会

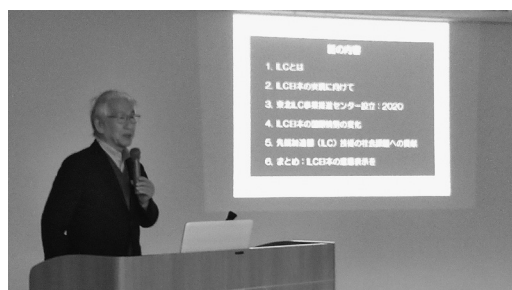
期日：令和6年11月21日

場所：シーパル大船渡

出席：佐々木春一 議長
水野 正勝 副議長
高橋 靖 議員
村上 薫 議員
佐々木初雄 議員
荻原 勝 議員
金野 千津 議員

気仙の持続発展へ ILC誘致実現を

国際リニアコライダーの誘致実現のため、大船渡市、陸前高田市、住田町の議会議員で構成される「気仙地区議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟」の総会と研修会が開催されました。ILCに係るこれまでの取り組みや計画の内容、誘致の現状を学びました。



研修会の演題

ILC日本誘致の早期実現と 地域からの開国

講師

ILC事業推進センター 代表
岩手県立大学 学長
鈴木 厚人 氏

内容

- 1、ILCとは
- 2、ILC日本の実現に向けて
- 3、東北ILC事業推進センター
設立：2020
- 4、ILC日本の国際情勢の変化
- 5、先端加速器（ILC）技術の社会課
題への貢献
- 6、ILC日本の意思表示を

追跡レポート⑧ 一般質問その後 どうなりました

あの提言

図書室に エアコン整備

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

質 問

図書室の活用推進 エアコン設置を

中央公民館図書室の役割をどのように位置づけ、活用を進めていくのか。エアコンやトイレの整備が必要ではないか。

答 弁

利用者と情報を交換 整備を進めたい

図書室の利用者や図書ボランティアの方々などとも情報交換をしながら、整備を進めていきたい。

その後



利用者の声

まつだ ちあき
松田 千秋 さん
(世田米字世田米駅)

エアコンが設置されたことは、とても大きな喜びです。猛暑が続く夏場でも涼しい環境で勉強や本読みができました。町民の方々も利用しやすくなったと思います。

令和6年7月に 図書室にエアコンを整備、 12月にはトイレを改修



△ 旧有住中より中央公民館図書室へエアコンが移設整備された

すみた想い人①7

町民の皆さんに登
場していただく企画
になります。町や議
会に対しての意見、
活動を通して「まち
づくり」への想いを
紹介していきます。



△ 社名ハナレの意味は、母屋に対する離れ、守破離の離、花にナレ

今回は、世田米商店
街に（株）BICPハ
ナレというマーケティ
ング会社を設立し、東
京と住田、2拠点で活
動をしている伊藤美希
子さんです。町の魅力
やまちづくりの視点を
伺いました。

Q 活動する中で感
じた住田町の魅
力や良さのようなもの
はありますか。

Q 住田町と関わっ
たきっかけや、
その後の活動は。
A 東日本大震災の
年に、大学の先
輩が携わっていた町内
仮設住宅のボランティア
アとして初めて住田町
に来ました。2013年
からは、仮設住宅など
で支援活動をしていた
邑サポートのメンバーと
して活動してきました。



伊藤美希子さん(世田米商店街)

挑戦する人を応援する町

議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴でき
ます。次の3月議会の予定
は下表のとおり。

生活改善センター議会議棟
の入口から案内に従って傍
聴席へお入りください。

令和6年12月
議会の傍聴者は
11人でした



3月議会は

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26	27	28	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

住田テレビ放映もどうぞ



本会議や一般質問の様子は、
住田テレビの「議会放送」でも
ご覧いただけます。
放映時間は午後6時からです。

A 当初は中上・本
町・火石の仮設
住宅で地元公民館の方
々と支援活動を行いま
した。その後、通う
私たちもお祭りへ参加
させていただいたり、
団体交流やまちづくり
の視点で町から相談を
受けたりするようにな
りました。みんなが
オープンで「開いて下
さること」がこの町の
良さだと思います。

Q 住田町を活性化
するための視点
を伺います。
A 町内ではあたり
前でも、町外か
ら見ると価値があるも
のがあります。震災時
に町独自で建設した木
造仮設住宅やその震災
遺構となるイコウエル
すみたなどは、類例が
ない価値であり、町の
活性化への資源となり
得ると思います。

Q 町や議会に望む
ことをお聞かせ
ください。
A 町内5地区の地
区公民館で行わ
れている小さな拠点づ
くりのイベントなどで
発揮される住民の「既
にある熱量」を見逃さ
ないことが大事だと思
います。これからも、
チャレンジする人の背
中を押すような、町や
議会であり続けてほし
いです。

パート 20

わたしの未来

住田町の子どもたちが
将来の夢を語る
コーナーです。
自薦・他薦も大歓迎。申し
込みをお待ちしています。

あこがれの舞台へ

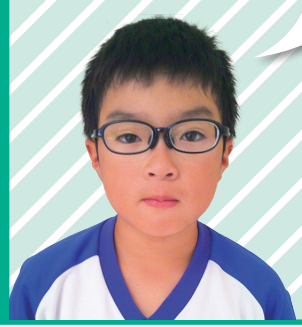
私の夢は**俳優になること**です。理由は、キャラクターの声を演じたり、ドラマに出演したり、芸能活動してみたいと思ったからです。そして、色々な人に知ってもらえる俳優になりたいです。そのためにオーディションに合格できるように頑張りたいです。



有住小学校6年
ささき ちひろ
佐々木 千尋
(上有住字天嶽)

ピッチャーで活躍

僕は、住田野球スポーツ少年団に入っていて、ポジションはライトやピッチャーです。練習は大変だけど、試合で勝ったりいいプレーができたときは、とても楽しいです。将来は、**野球選手になってピッチャーなどで活躍**したいです。



世田米小学校5年
いずみ りょう
泉 悠吾
(世田米字暇畑)

編集後記

委員長 水野正勝

▼あけましておめでとうございます。本年も住田町議会をよろしくお願いいたします。▼当委員会では、編集方針「次も読みたくなる身近な広報紙づくり」を掲げ、定例会終了後1カ月での発行を基本とし、表紙写真と解説以外の全てを委員会で立案・編集しております。委員会を5回開催し、各ページの担当者が作成した原稿を何度も読み合わせ、修正を繰り返し、完成させています。ご意見ご感想をお寄せいただければ幸いです。

広報編集常任委員会

発行責任者



議 長	佐々木 春 一
委 員 長	水野 正勝
副委員長	荻原 祐一
委 員	阿部 正千
	村上 金野
	瀧本 正千

表紙の写真



世田米保育園

12月の一大イベントといえばやっぱりクリスマス！
12月24日、世田米保育園のクリスマス会にお邪魔すると、いちご組の子どもたちが、「帰ったらお父さんとお母さんと遊ぶんだよ」と嬉しそうにもらったプレゼントを見せてくれました。可愛いリボンやかっこいいジャケットでオシャレをしたりんご組の子どもたちは、「ホントのサンタさんにはラジコン頼んだよ！」「お人形来るかな？」と、こちらまでワクワクしてしまうほど、嬉しそうな笑顔を見せてくれました。